

囚徒おぼえ書 (連載第九回)

嵐の前

二十四分会(本所) 武松輝男

大正十五年、大正天皇が崩御さ
れた。囚徒番号七十号は、恩赦を受け
ることになった。四年の刑期が残
っていたが、半年後の五月一日、
減刑放免されることになった。

「囚徒番号七十号は、恩赦を受け
ることになった。四年の刑期が残
っていたが、半年後の五月一日、
減刑放免されることになった。」
二十一年間、赤衣で過ごしてき
た。長い年月であった。

恩赦で放免が通告されると、そ
の日から青衣に替えられる。青衣
になると囚徒番号が免除された。
「看守長サマ、私を坑内に下げ
てくださいませんか」
「坑内には、下がらん方がええ
のと違うか。坑内へ下がると恩赦
からはずれた者から妬(ねた)ま
れるぞ」

「囚徒番号七十号は、恩赦を受け
ることになった。四年の刑期が残
っていたが、半年後の五月一日、
減刑放免されることになった。」
二十一年間、赤衣で過ごしてき
た。長い年月であった。

恩赦で放免が通告されると、そ
の日から青衣に替えられる。青衣
になると囚徒番号が免除された。
「看守長サマ、私を坑内に下げ
てくださいませんか」
「坑内には、下がらん方がええ
のと違うか。坑内へ下がると恩赦
からはずれた者から妬(ねた)ま
れるぞ」

追悼・決起集会のあと
「三池闘争を語る集い」

主婦会有志が



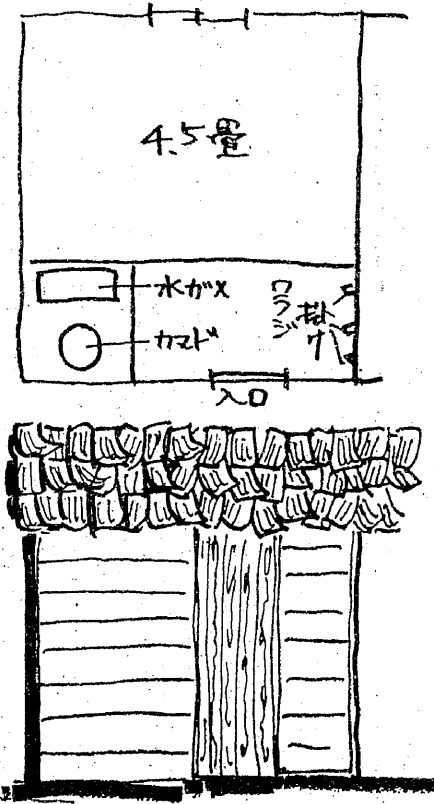
【記念品などの展示とともに
盆裁、生花展も行われた】

三月二十八日、故久保清さん追
悼・八二春闘決起集会のあと、主
婦会では西山事務所で「三池闘争
を語る集い」を開きました。

この日会場では、三池闘争当時
の写真を記録、ホッパパイプや
旗などが集められた資料展を見た
り、組合員や主婦会員の丹精され
た盆裁・生け花を観賞しながら、
執行部で前日から準備したおで
んと、熱々の若菜ごはんのおにぎ
りにタタアン漬けを味わいながら
語り合いました。

先陣から、炭協協成時の苦労
話があり、組合員の方からは入
社当時学習会に行く、五円の出
どろがタタで食べられたので、う
どんにつられて学習会に参加した
のが、三池労働組の一員としてた
か労働者に育ったという話など、
楽しく聞きました。

また、千二百名の解雇者であ
った女子組合員として、一生懸命
たかたてた三池闘争の口惜し
い、よかオッパイと尻を持つと
うな緑の木陰に立っていた。洗い
張りした木綿の着物が、さすが
しかった。



坑夫納屋

「ちよ」と待たなか。俺を殺す
気か」
馬丁は、ことあるごとに炭協を
曳く回数減らそうとした。
「これじゃ俺にはなかなえ」
ここで喧嘩でもしようものなら
恩赦もふいになる。それと思うと

ウ、よかオッパイと尻を持つと
うな緑の木陰に立っていた。洗い
張りした木綿の着物が、さすが
しかった。

女は、にどりのないすき通るよ
うな緑の木陰に立っていた。洗い
張りした木綿の着物が、さすが
しかった。

短歌 木の芽雨

二十分会(三川) 町 佳郎

常通う河沿いに建つ訓練校に
咲き初めしアネモネを覗く子
の頭(す)を振りてしまへく(うれ)より去らず
飛びきたるレバーにて坑夫の
逝きしをちつね守らざる保安
対策のはたてられつ
読みさし(ふみ)置き見る窓
ぎに木瓜(ぼけ)を濡らして降る
木の芽雨
暖かき日々過ぎゆきてま白
なるこぶしの花も盛り迎えぬ
欧州の反核に呼応し島につ
づく二万の老若の波(三・二
反核集会)
加勢人多き中に混りつひと
目とめぬ大木植など振り(友
人宅棟上げ)
夕張の最後の遺体あがり来ぬ
被災四月後の白骨化せし貌
死の際の思いいかにあけん
子の名前書かれし紙片の骸(むくろ)
ゆ出で来ぬ
時折に大鼓の音も聞えくる
松の下に子らと遊びぬ(菊池
神社)

「旅行サークル」発足とお誘い

三池労働組の各サークルも春と
ろん、一人旅も海外旅行も、自分
もに活動に活動をはじめ、開募サ
ークルが一周年記念開募大会を開
催したのをはじめ、写真サークル
も作品の展示会を組合事務所で行
いました。山岳サークルも古処山
に登山記念行事を組んで活動を開
始しました。

厚生部だより

『労務』関係者の指導部担当
者より引継ぎ、今日に至りました
が、契約について毎年四月に自動
継続をした関係で、担当者、分
会会長はもとより、本人すら知ら
ないでせう。かく契約し掛金は支
払いながら、労働災害により傷害、交
通事故、私傷病休業、出生、入学
などの見舞金、祝金を請求せずに
いるケースが数多く見受けられま
す。

生きがいのある老後を

三池退職者の会が総会



四月四日午前十時から三川公民
館ホールで、三池炭鉱退職者の会
の第十二回総会が開かれました。
総会には百人近い会員が出席し、
古賀会長のあいさつ、近藤
九州ブロック、後藤福岡県、榎下
大牟田の各高年齢者・退職者連絡協
議会の会長あいさつ、熊本県伊
藤次長、近藤労働年金大牟田支店長、
蓮尾政治局長代表、森田三池労働組
合長が激励のあいさつを送りまし
た。